

2025 年度 地域連携推進会議 議事録				
事業所名	にじ			
開催日時	2026 年 2 月 19 日 (木) 13:15~			
開催場所	にじ (レッド館)			
出席者	構成員	人数		備考
	事業所職員	3	名	理事長・施設長・事務長
	入居者	1	名	
	入居者ご家族	1	名	
	地域の関係者	1	名	市内グループホーム施設長
	福祉に知見を有する方	1	名	社会福祉協議会職員
	経営に知見を有する方	0	名	
	市町村担当職員	0	名	
議題	<p>①主催者挨拶 (理事長)・地域連携推進会議の目的等説明</p> <p>②出席者自己紹介</p> <p>③にじ事業実施状況・活動報告について</p> <p>④意見交換</p> <p>⑤施設見学 (レッド館・オレンジ館・ブルー館)</p> <p>⑥その他</p>			
協議内容・意見等	<p>①理事長挨拶・会議目的等説明</p> <p>②出席者自己紹介</p> <p>③にじ事業実施報告・活動報告について</p> <p>施設長より事業実施報告 (資料を基に説明)</p> <p>オレンジ館 1 名空室 現在入居者選定中 GW 明けには入居となる予定</p> <p>おおむね安定的に生活。</p> <p>町田市指導監査 GH と SS に入った。重大な指摘事項はなかった。</p> <p>ブルー館 今年度新たに始まった。移譲前からの職員も多く残ってくださったので、ご利用者も安定している。</p> <p>④意見交換</p> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブルー館に比べ、明るい。きれい。</li> <li>・姉はオレンジ館の前に 3 箇所 GH に入った経験がある。</li> <li>人とあまりかかわらない性格だが、オレンジ館では和気あいあいと自由に過ごさせてもらっている。</li> <li>・必ず誰かがいてくださる環境はとても安心。</li> <li>・通所施設との連携、共有ができていることがありがたい。</li> <li>・年齢が 60 歳になる。いつまで通所できるのか。</li> <li>・また通所施設の利用がなくなると、GH にはいられなくなるのか。</li> </ul>			

- ・地域では障がいのある子を親から離す環境がなかった。うちがグループホームに入ったことでそのような考え方が地域にも広がってきた。
- ・平均年齢高くなっている。高齢化についてどう考えているか。
- ・ブルー館は部屋は暖かいが、玄関回りや入浴後の着替える場所は冷える。ヒートショックが心配。トイレは暖房便座になったが。ファンヒーターなど小さいものでいいのでおいてほしい。特に男性の部屋。
- ・食材予備があるとのことだが、ヨシケイ以外にもなにか提供されるのか？

(施設長) 朝に追加することが多い、少しヨシケイの品数が少ない。

一品足すことがある。職員それぞれ得意な物が追加されている。

ブルー館はパンのリクエストが多い。

ブルー館 風呂脱衣場 暖房器具を置くようにする。(安全なもの)

⇒即日 (2/19) ヒーター購入・設置済み

(利用者) ごはんおいしい。量は足りている。風邪もひかず毎日通所できている。

(理事長) 高齢化について

- ・年齢があがっても、高齢者サービスも活用しながら、住み続けている
- ・医療との連携が必要になってきている。
- ・四季を感じながら作業して、GHで穏やかに生活するには 医療との連携や介助が必要。
- ・スタッフも介助スキルを上げる必要がある。
- ・ひかりは重度の受け入れを行っている。そのスキルをにじや他の通所施設にも広げる。
- ・日中にひかりの入浴サービスを使うなど、法人でバックアップを行っている。
- ・65歳までに受けていたサービスは、その後も使うことができる。
- ・65歳を過ぎてから新たな障がい福祉サービスを受けることはできない。

(委員)

- ・ブルー館 落ち着いて暮らしていることは、通所施設も同じ法人内という安心感は大きいと思う。
- ・高齢化も、GHであれば見守り体制がとれる。でも職員も大変だと思うので、社協などの福祉サービス(社会資源)もどんどん使ってほしい。
- ・糖尿病でGHに入るのが大変だった。入居後に発症した場合はどうなる？

(理事長) 訪問看護・訪問医療を入れることも可能。

法人内の看護師が対応することもある。

訪問リハ、マッサージ等を活用している方もいる。

## ⑤施設見学

会議終了後施設見学 全ユニット(レッド館・オレンジ館・ブルー館)実施